

## 『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 白川隆一

初めて新制作展に出品したのは、1979年大学を卒業した年でした。

大学で建築を専攻し、その大学の教授でSD部会員であった小野襄氏の研究室に入りましたが、新制作展に作品を毎年出品する事が条件でした。

今まで一度も作品を作った事はありませんでしたので、作品制作を一から学びました。そこで作品を創る意味や抽象表現の在り方、デザインの進め方などと、制作する技法を学びました。

ここが作品制作のスタートで、その事を追求して、今まで作品制作を続けているのだと思います。

以下はその中で素材による違いで3作品を選んでみました。

### 作品 A



REN IV (h80 × w30 × d15)

1983年：第47回新制作展 金属粉とエポキシ樹脂によるFRP工法

創りたい作品が解らずに、読んでいた詩の一節から、海や波が気になったので、休みの日にフェリーに乗り、海を眺めに行った記憶があります。イメージと作品について考えていた時期です。期限に間に合わず、学校に泊まり込んで制作していたと思います。

## 作品 B



1986年：第50回新制作展 エポキシ樹脂によるFRP工法

FRP工法とは繊維強化プラスチックの事です。ガラス繊維などの繊維をプラスチックの中に入れて強度を向上させた複合材の事です。

前出の作品は、表面が赤茶色の金属粉で、裏打ち材をガラス繊維で補強していますが、本作は表面にガラス繊維を使用しています。ガラス特有の緑がかった色合いが意外な発見でした。

## 作品 C



2004年に銀座のギャラリーで行ったグループ展

それまでは学校の工房で制作をしていましたが、学校を辞めた為、工房が使えなくなりました。設計事務所に所属し、CAD を使い図面を描いていた為、図面を描いて外注する事を考えました。ステンレス板をレーザーカットで加工してくれる会社を探しあて、外注しました。作品パーツとして加工してもらい、自分で組立てて完成させます。この作品はその第一作目で、思い出深い作品です。

## 白川隆一 プロフィール

---

- 1955 宮城県仙台市生まれ
- 1979 日本大学生産工学部建築工学学科卒業
- 1981 新制作展 初出品
- 1982 新制作展 新作家賞受賞（同' 86' 89年受賞）
- 1991 新制作協会 会員推挙
- 1996 「ONOJIN 思考」（パルテノン多摩ギャラリー）
- 2002 ART WORK・ART WALK 展（銀座・月光荘）
- 2004 NEGA⇔POSI 展（新橋・マキマサルファインアーツ）
- 2008 「空間の彩展」（銀座・画廊るたん）